

KUNI Summit 2024: KYOTO

未来を拓く千年のビジョンを日本の源流に辿る

いま、世界はかつてない変革の渦中にあります。気候危機の深刻化、不平等の拡大、急速な技術革新、そして社会的価値観の揺れ動き——こうした課題に直面するリーダーたちは、これまでの枠組みを超えた、新しいビジョンを描く必要性を痛感しています。多くの人々が未来への潜在的な変化を感じ取りながらも、その変化が向かう先を見通す指針をどこから受け取ればよいのかが問われています。

こうした時代において、今、世界が日本の源流に注目しています。日本には、過去と未来をつなぐ鍵となる叡智が、その土地に刻み込まれているとされています。例えば、熊野や高野山といった地は、単なる歴史的な名所ではなく、時代を超えたビジョンを生み出す「場」として機能してきました。それは、空海、神武天皇、そして数多の時代を超えるリーダーたちが、共通のビジョンを感受し、数百年や千年続く枠組みを生み出し、体現してきたものです。彼らが受け取ったビジョンとは、一瞬のひらめきではなく、深い自然との一体感と、心身の鍛錬、限りなく広い共同体とのつながりの中で生まれたものでした。

しかし、私たちが時代を超えるビジョンを受け取るためには、現代的な論理や合理的な思考だけでは不十分なのでしょう。例えば、先人たちがそうしたように、巡礼という身体的・精神的な実践を通じて、自然や歴史、霊性との深い共鳴の中で初めて、そのようなビジョンは姿を現すのだと言えます。巡礼の道を歩くことで、私たちは「自分とは何者か」「私たちがどこへ向かうべきなのか」という、本質的な問いに対する答えを受け取る準備を整えていきます。

本サミットでは、熊野と高野山という象徴的な地を巡る旅路を経て、30名の世界のリーダーたちと70名の若い世代が、歴史ある京都の仁和寺に一堂に会します。熊野の原初的な自然がもたらす根源的な生命感、高野山で空海が築き上げた曼荼羅のような宇宙観、そして京都という歴史と創造性が交錯する場。サミットの最終章となる京都では、これらの巡礼で受け取った洞察が共有され、未来を創るための新しいビジョンを編んでいきます。熊野、高野山、京都——この三つの地を巡る旅がもたらすのは、新しい時代の礎を築くための土壌となるビジョンです。

サミットの主なテーマ：

個人の内的な変容と、共同体や自然との深い調和が交差する場。世界中から集まったリーダーたちは、この旅を通じて次の問いに向き合います。

- 人類の次代を導く新しいビジョンとは何か？
- 歴史に刻まれた「源流」から、私たちは何を受け取れるのか？
- そのビジョンを受け取るために、私たちがいま踏み出すべき一歩とは？

イベント概要：

- 開催日程：2024年12月10日（火）～11日（水）

- 会場: 仁和寺(京都)
- 開催時間:
 - 2024年12月10日(火)17~20時
 - 2024年12月11日(水)10~16時
- 参加者: 起業家、政治家、経営者、フィランソロピスト、教育者など、多分野の世界のリーダーが40名と、未来を共創する70名の日本の若者
- 参加費: 無料(プログラム参加費、食費を含む。宿泊は参加者が各自手配、負担)

KUNI Summit KYOTO ゲスト一覧

1. タブリーズ・バージー (**Tabreez Verjee**) インパクト投資家であり、The Space Betweenの共同創設者。タブリーズは、Change.orgやKivaなどの初期投資を含む、社会変革を目指すベンチャーの育成に尽力しています。システム全体を変えることを目指し、文化的シフトをもたらすベンチャーに注目しています。彼の投資哲学は、社会的および環境的影響目標を達成するために、資本を戦略的に活用することにあります。
2. フレッド・ツァオ (**Fred Tsao**) IMC Pan Asia Alliance Groupの会長であり、家族経営の海運業をグローバル企業に成長させた実業家。彼は「意識的資本主義(Conscious Capitalism)」の提唱者であり、持続可能な開発とウェルネスを統合するSangha Retreatを設立しました。フレッドのリーダーシップの下、IMCは経済的成功だけでなく、より広範な社会的利益を追求するモデル企業としての地位を確立しています。
3. ルミ・バージー卿 (**Lord Rumi Verjee**) は、Domino's Pizza UKの創設者であり、慈善家としても広く知られています。彼は1985年、英国でDomino's Pizzaを導入し、同ブランドを一流のフランチャイズビジネスに育て上げました。その後、成功を収めた企業を売却し、ビジネスだけでなく慈善活動にも積極的に取り組む人生を歩んでいます。彼が設立したThe Rumi Foundationは、教育、医療、社会的影響に関するプロジェクトに資金を提供しており、特に恵まれないコミュニティの支援に注力しています。
4. オーランド・ビショップ (**Orland Bishop**) ShadeTree Multicultural Foundationの創設者であり、先住民の知恵や精神的実践を危機に直面する若者の支援に活用している指導者。彼は、対話、コミュニティ形成、そして和解を通じて、個人と社会の両方の変革を目指しています。オーランドのアプローチは、若者が自らの可能性を発見し、未来を形作る力を得るのを助けています。
5. プリータ・バンサル (**Preeta Bansal**) 弁護士で政策専門家のプリータは、ニューヨーク州のソリシター・ジェネラルとしての役割や、オバマ政権での政策立案を通じて活躍してきました。彼女は、法律とガバナンスを通じた社会的影響の向上を目指しており、公平で持続可能な社会発展を推進する法的枠組みを提唱しています。
6. ニプン・メータ (**Nipun Mehta**) ServiceSpaceの創設者。ニプンは、ボランティア活動、テクノロジー、ギフトエコノミーを統合したアプローチで、世界中の人々に寛かさをつながりをもたらし、世界をより良くしています。ダライ・ラマから「コンパッションの無名の英雄」として表彰されたほか、オバマ政権では貧困問題に関する委員会に任命されました。
7. ビクター・クー (**Victor Koo**)
ビクター・クーは、中国最大の動画配信プラットフォームYoukuの創設者であり、テクノロジー業界の先駆者として知られています。2006年にYoukuを立ち上げ、エンターテインメントとテクノロジーを融合させたビジョンを実現しました。2012年には競合のTudouと合併、後に

Alibabaによって買収されるという成功を収めました。ビクターは、カリフォルニア大学バークレー校とスタンフォード大学で学び、グローバルな視点と高度なビジネススキルを培いました。

8. **プラブーン・ススラム (Praveen Suthrum)** プラブーン・ススラムは、医療分野で未来志向の技術とイノベーションを推進する起業家です。デジタル技術の導入による医療の変革を提唱し、特に医療のアクセシビリティと患者中心のソリューションに焦点を当てています。彼の取り組みは、医療サービスの効率化と患者の満足度向上を目指し、遠隔医療やAIを活用した診断ツールなど、最先端技術の導入を推進しています。
9. **ラリッサ・メイ (Larissa May)** ラリッサ・メイは、#HalfTheStoryの創設者であり、メンタルヘルスとデジタルウェルビーイングの促進に尽力しています。彼女は、テクノロジーとの健全な関係を築くためのプラットフォームを構築し、デジタルツールを通じてバランスの取れた責任ある利用を奨励しています。特に若者を対象に、ソーシャルメディアがもたらす精神的負担を軽減する取り組みを行い、意識的で責任あるデジタル習慣を育むことを目指しています。
10. **ラム・グエン・フーン (Lam Nguyen-Phuong)** IDG Ventures Vietnamの共同設立者であり、ベトナムのスタートアップエコシステムの発展に多大な貢献をしている著名な投資家。彼の活動は、新興市場における持続可能な開発に寄与するテクノロジーおよび社会的ベンチャーの支援に重点を置いています。ラムは、企業家精神の育成と技術革新を推進し、地域経済の成長を促進しています。彼の投資哲学は、経済的成功と社会的影響を両立させる持続可能なビジネスモデルの創造にあります。
11. **トレーシー・ウーン (Tracey Woon)** トレーシー・ウーンは、金融業界で長年の経験を持ち、UBS AGの元副会長として知られています。彼女は、東南アジアで女性起業家を支援し、リーダーシップにおける多様性を推進することに尽力しています。現在は、シンガポール政府の投資委員会のメンバーを務め、女性の金融業界での進出を支援するさまざまな取り組みに関与しています。彼女のリーダーシップは、経済の持続可能な発展と社会的包摂を目指す革新的な取り組みに焦点を当てています。
12. **マイケル・オウ (Michael Au)** インパクト投資家であるマイケル・オウは、家族経営のファンドを管理し、持続可能な食料システム、公共の健康、気候危機への解決策に資金を提供しています。彼の投資哲学は、経済成長と社会的影響を調和させることを目指しており、戦略的な資本配分を通じてグローバルな課題に取り組んでいます。マイケルの活動は、気候変動の緩和や持続可能な食料供給システムの構築など、長期的な社会的変革に貢献しています。
13. **トゥ・ンゴ (Tu Ngo)** トゥ・ンゴは、教育分野の起業家であり、ベトナムの学生を支援するスタートアップYolaを設立しました。Yolaは、革新的な学習プログラムを通じて、ベトナムの学生が国際的な教育機会を得るための道を切り開いています。彼女の活動は、教育へのアクセスと質の向上を目指し、特に英語教育や留学準備を支援しています。トゥのリーダーシップの下、Yolaはベトナム全土で教育変革を推進し、多くの若者に未来への希望を与えています。
14. **ジュンウォン・キム (Jungwon Kim)** ジュンウォン・キムは、環境責任と社会的責任を提唱するリーダーであり、気候変動へのレジリエンス強化と持続可能な都市計画を中心としたイニシアチブを主導しています。彼女の活動は、都市計画におけるエコ意識の戦略を統合し、持続可能な開発と環境保護を両立させることを目指しています。特に気候変動の緩和策や環境に優しいインフラの構築を推進し、地域社会に持続可能な未来をもたらしています。
15. **アリエル・ネッセル (Ariel Nessel)** The Pollination Projectの共同設立者であるアリエル・ネッセルは、世界中の草の根活動家にシード資金を提供し、社会変革を促進するイニシアチブを支援しています。彼の取り組みは、地域社会に深い影響を与えるプロジェクトを可能に

し、小規模ながらも変革的な社会的影響を持つ活動を育成しています。アリエルは、人々がより良い社会を築くためのリソースと機会を得られるよう支援し、持続可能で公平な世界の構築に尽力しています。

16. ザヤ・ラリツァ・ベナッツォ (Zaya Ralitz Benazzo)

ブルガリア生まれの映画監督で環境活動家であるザヤは、生命の精神的・存在的な問いを探究することに情熱を注いでいます。彼女は、SAND (Science and Nonduality) の共同設立者として、科学と非二元的知恵の伝統を結びつける活動を展開しています。ザヤは数々の著名な作品を監督し、トラウマが人間の経験と変容に果たす役割を描いています。彼女の活動は、個人と集団の解放を目指した対話と映画制作を通じて、意識の深化と社会変革を促進しています。

17. 田村 真一

Shinsei Pharma Groupの社長である田村真一は、神経変性疾患、特にアルツハイマー病の革新的な治療薬の開発を指揮しています。彼のリーダーシップの下で、同社は研究能力を拡大し、最先端の医療ソリューションを追求することで、世界の医療分野における重要な進展をもたらしています。

18. アキ・ヒラタ・ベイカー (Aki Hirata Baker)

MINKA Brooklynの創設者であり、イニシエーションを受けたメディスンウーマンであるアキ・ヒラタ・ベイカーは、社会変革への道としての癒しを促進することに専念しています。MINKAは、ブルックリンにある共同運営型の癒しの空間であり、社会的抑圧に取り組む癒しの実践を推進し、資本主義に依存しないウェルネスのアプローチを提唱しています。多くの霊的および治癒の実践者の下で訓練を受け、集合的解放を目指した癒しの実践に重点を置いています。

19. アーロン・ペレイラ (Aaron Pereira)

社会起業家でエンジニアでもあるアーロン・ペレイラは、テクノロジーと社会的インパクトを結びつけるプロジェクトで知られています。彼はThe Wellbeing Projectのプロジェクトリーダーとして、内面的なウェルビーイングを促進する活動を展開しています。彼はまた、カナダで慈善寄付を促進するプラットフォームCanadaHelpsや、社会的金融分野のリーダーであるVartanaを共同設立しました。アショカ・フェローおよび世界経済フォーラムのヤンググローバルリーダーに認定されており、技術革新と社会的福祉の両方に深いコミットメントを持っています。

20. ドクター・メアリー・アン・ツァオ (Dr. Mary Anh Tsao)

Tsao Foundationの会長および創設ディレクターであるメアリー・アン・ツァオ博士は、高齢者の生活の質を向上させるために活動しているシンガポールの非営利団体を率いています。同財団は、ホリスティックな地域アプローチを通じて健康長寿を促進する「Community for Successful Ageing (ComSA)」を含む革新的なプログラムを展開しています。彼女の貢献は、公共サービス勲章や星章を含む数々の国家的な賞によって認められており、2022年には国連によって「The Healthy Ageing 50」に選ばれ、高齢者にとってより良い世界を作るための取り組みが評価されています。